



2025～2026年度

東京江東ワイズメンズクラブ ブリテン

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS, CHARTERED, 1959
KOTO YMCA 3-15 ISHIJIMA KOTO-KU TOKYO JAPAN.
PHONE 03 3645-7171. FAX 03 3645-8454

国際会長 エドワード・オン (シンガポール)

主 題：“Faith, Love, Action” 「信念、愛、行動」
スローガン：“Together Stronger” 「共に、より強く」

アジア太平洋会長 田上 正 (熊本むさし)

主 題：“Act now with faith and love!” 「信念と愛を持って行動しよう!」

スローガン：“Contribute to local society together with YMCA and Youth!”

「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」

東日本区理事 山下 真 (十勝)

主 題：“Rediscovering Y's Uniqueness”
「ワイズのらしさ再発見」

スローガン：“Change!” 「Change!」

関東東部部長 鈴木雅博 (東京江東クラブ)

主 題：“CHANGE (変革) 若者から発信”

JUN 6

つながる つなげる

東京江東クラブ会長 大原真之介

今月の
強調テーマ

YMCA サポート、 歴史、振り返り

1年を振り返って

大原真之介



大変光栄なことに、直近4年間で3期の会長、務めさせていただきました。やりきりました!走り切りました!ゴールテープが涙で煙って見えています。サライが流れてます!!!そして、この会長のタスキを江東ワイズ随一の熱い漢!宇田川ワイズにおつなぎします。

『つながる つなげる』

という主題で1年間活動させていただきました。このテーマの主旨はもちろん、

“想いと人”です。そして今期このテーマが大きのしかかる年度でもありました。

それは、クラブの巨星 香取ワイズがお亡くなりになられたこと、想いをどのように繋げるべきか皆で考えさせられました。人を想い、地域を大切にワイズの活動を広げることに、情熱を燃やす香取氏の姿を私たちはいつまでも心に留めていくことを誓いました。

また、嬉しいこともありました。私や小松康広氏(こまっちょ)がスタッフ時代のキャンブ仲間!リーダー OGの藤波さんがワイズに入会したことです。YMCAをよく知り、アイデアを実行に移すエネルギーに満ち溢れた彼女は、本当に頼もしい存在です。

最後に、やはり江東ワイズは何より”ユース”に力を入れているクラブだと思いました。学生ボランティアリーダー支援ということだけでなく、幼稚園園児・小学生や卒園児・YMCAスタッフ・YMCAに集まる地域の皆さんとの交流や支援、また活動を共にして汗をかくことこそが、未来のための行動であり広義の意味での”ユース支援活動である”と再認識しました。

会長として全く能に足りないことを自覚しています。また、ワイズ本来の活動が若干疎かになっているのではないかと自問自答しながらも、タレント豊富で懐の深い江東メンバー皆さんに、今しかできないことを「まあ しのすけが思った通りに やってみなさいよ!」と後押ししていただいたことで、楽しい一年をなんとか乗り切れたことを心から感謝に思います。本当にありがとうございました。

6月例会

日時：2026年6月18日(木) 19:00～21:00

会場：東京 YMCA 江東センター

受付：佐藤 アドリエンさん

司会：本間 剛君

プログラム

開会点鐘 会長 大原 真之介君
ワイズソング・ワイズの信条 相川 達男君
食前の祈り 草分 俊一君
本年度決算 来期予算案経過報告 会計 駿河 幸子さん
来期活動予定経過報告

次期会長 宇田川 敬司君

各種報告
ハッピーバースデー&アニバーサリー
閉会点鐘 会長 大原 真之介君

今月の Happy Birthday
駿河 幸子さん (9日)、
相川 達男君 (29日)

結婚記念日 なし

今月の聖句

すべての民よ、手を打ち鳴らせ。神に向かって喜び歌い、叫びをあげよ。
(詩編 47編2節)

5月会員数	5月出席者	5月出席率	アクティブファンド		ニコニコボックス		クラブ役員	
26名 内広義会員1名、 休会1名	メンバー 18名 メネット コメント ゲスト ビジター	75% (18/24)	4月まで	1462384	4月まで	25810	会長	大原真之介
			5月分	0	5月スマイル	0	相談役	小松 重雄
					累計	25810	会計	駿河 幸子
			残高	1462384			書記	滝沢 圭太
							直前会長	相川 達男
							連絡主事	草分 俊一

ワイズと江東YMCAと私

柳沢広繁



「YとYsとの関係やYs設立当初の記事を」との依頼があったが何も資料がない。記録として留めておきたいことは沢山ある。が資料を探す気力はないので、記憶のみに頼った文章であることをお許し願いたい。

私が初めてYMCA 江東ランチ（当時の呼称）の活動に関わったのは16歳で、友人と共に参加した1951年のクリスマスパーティだった。当時の江東Yは2階建。通りを挟んで西側の清水井味噌（当時）の深町さんから保育園（当時の名称はYMCA 育心保育園）を続ける条件で借用していたのだと記憶している。デンマーク体操、聖書研究会、英語教室、香取ワイズの奥様の父上から任されたそろばん教室などがあった。（深町さんは後に、前橋YMCA＝現ぐんまYMCAの設立にご尽力された。）

私は当時の主事に誘われて体操と聖書の会に顔を出すようになるのだが、それを機に少しずつ江東Yの活動に深く入っていくようになる。

江東クラブは東京クラブによるホストのもと、同クラブから抱井さん、栗原さん、葉山に住む人（お名前失念）の3名、東京Yの江東・墨田地区の会員、江東区内の事業家等を集めて20名程度でスタートした。私はその1年後の入会なので残念ながら設立の詳しい経緯やご苦労は存じ上げない。後に江東クラブもいくつかのクラブ設立をホストしているが（東京グリーンクラブ、千葉柏クラブ、足利クラブ、東京ひがしクラブなど。足利クラブは宇都宮クラブと合同でホスト）、新クラブ設立に際しては、ホスト側クラブのメンバーが移籍して新規メンバー集めをするという苦労がある。

江東Ysは江東YMCAの活動を様々な形でサポートするのが使命なので、江東YMCA、YMCA幼稚園のためにできること、という視点で活動してきた。クリスマスの時のお菓子やスイカ割りのスイカ等ささやかなプレゼントもあるが、ワイズの周年ごとに行ってきた記念としての贈り物についても記しておきたい。江東クラブは以前より、10周年の区切りではほかのクラブの皆さんに盛大にお祝いして頂いたのだが、5周年の区切りではお祝いのお裾分けのような気持ちで江東Y



に贈り物をしてきた。主事各位と相談の上で内容を決めたが、思い出深いのは縦の木だ。クリスマスツリーとしての使用を願って、今の滑り台の辺りに植えられた（建替えにより伐採）。また園庭の桜の木や時計設置なども5周年事業の一つである。周年事業の中で上記の他に特に記しておきたいのは、数馬キャンプ場建設と深川八か町（8つの町会による合同）運動会であろうか。

数馬キャンプ場は、多くの子どもが安価に利用できる場所が必要ではとの意見を受け、YMCAに利用していただく目的で江東ワイズが作った手作りのキャンプ場である。場所は奥多摩・東京都松原村。材木業を営む元井さんが主体となり、基礎はコンクリート業の柏メンバー、ベニヤ板は奥峪さん、鉄骨は柳沢などなどそれぞれの家業を活かしつつ、メンバー全員が（時には主事やリーダーたちも）毎週入れ替わり立ち替わり建設に通い、3年かけて作り上げた。ただ、蓋を開けてみると山から引いた水道は煮沸利用が条件となり（許可が下りず）YMCAのキャンプで利用していただくことは断念せざるを得なかった。地元ののこども会などに開放しご利用いただいていたが、ある年の台風でキャンプ場の広場中央に1Mほどの水路(川)が出来てしまい閉鎖を余儀なくされた。（そのまま利用したいという地主さんに解体せず返却した。）

深川八か町第運動会は、やはりワイズの周年事業で「近隣の子どもたちのために何かを」という思いで始まった「50m走記録会」に端を発する。ワイズが借りた扇橋小学校の校庭に子どもたちを集めて50m走をし、記録証と記念品を渡すというものだ。扇橋小・川南小・東陽小の子どもたちに来て





もらおうと企画したが、簡単ではなかった。広報の為にポスターを持参して各小学校を訪ねると、校内へのポスター掲示は許可が下りない。仕方なくメンバーが小学校周辺に立ってチラシを配るなどして参加者を集め、やっとスタートした。リーダーたちの協力も得て記録会は回を重ね、参加者の数も増えてきた頃、子どもに付き添って参加されていた町会の人からワイズに「地域の運動会として開催できないものか」という相談があったのだ。江東Yの部屋を借りてワイズメンバーが町会の方々と打ち合わせを重ね、江東Yにもご協力をいただきながら第1回八か町（8つの町会による合同の）大運動会の開催に至る。1983年のことだ。リーダーがテントから実況中継をしたり、聖火を登場させたいが火を使えないのでリーダーが燃える聖火を演じるなど大いに盛り上がり、回を追うごとに運動会は大きくなった。徐々に運営の主体はYMCAと町会に移り、ワイズは協力というポジションに落ち着いていたが、某団体から「一宗教団体が主催するのはいかがなものか」とのご批判をいただいたのを機にワイズは手を引き、運営は町会主導へと引き継がれた。ただその端緒にワイズの役割があったことは喜ばしく思う。

大変古い話だが、旧館で雨漏りの問題が起きた時には3階を増築することになり、ワイズメンバーも大いに活躍したことなども思い出す（その際3階にワイズ室が誕生）。ワイズカップサッカー、ワイズガーデン、区民祭りの焼きそば（これらは場所確保も含め香取さんの尽力）なども思い出があるし、バザーや会員親睦会への参加、プールの設置、解体の際の焼き鳥提供、会館の修理やペンキ塗りなど、ワイズ活躍の場は多岐に渡る。そしてそれぞれの機会を通じて、ワイズと江東YMCA・YMCA幼稚園はよい関係を築いてきた。それはお互いにとって素晴らしいことであつたらうと、改めて思う。

まだまだ芽づる式に古い思い出話が出てきそうですがこの辺で筆を置きます。不正確な所もあろうかと思えます。悪しからずご了承下さい。ボケ老人より

江東センター親睦会&ステーキ会&山利喜もつ煮

山崎 常久



皐月九日は江東センター親睦会。センターに関わる園児、父兄、教職員、リーダー、ワイズが垣根を越えて園庭で親睦を深める楽しいひと時。今年もワイズはワイズバー、焼鳥、水餃子を担当し、メンバーが揃いのワイズ黒ポロシャツでそれぞれの持ち場で汗をかきました。では、それぞれのブースを覗いてみましょう。まずはワイズバーから。寺尾さんがマイシェイカーを持参してバーテンダーとなりシャカシャカパフォーマンスに励んでいます。続いて焼き鳥。3ヶ所の焼き場で小松ちょさん、佐藤さん、アドさん、酒向さんだけでなく入会候補の村田さんも焼いています。三ツ星シェフの佐藤さんの塩振りがキラリ。水餃子コーナーでは藤波店長の号令の下、相川さんと山崎の初老コンビが駿河さんの蒸した餃子を仕上げ茹で。丸めた背中に悲哀を感じさせてくれます。高橋シャツさんも愛息を連れて駆けつけてくれました。柳澤親分も嬉しそうに各ブースに「ちゃんと働け！」と愛の鞭。草分館長も忙しい合間を縫って各ブースを激励、それぞれが皆、それぞれの持ち場で役割を果たしてくれました。おや？約1名、働いていない人が。誰とは言いませんがO原会長がお喋りに夢中なようで。ま、しかたないか。

親睦会がお開きになったら焼き鳥の残り炭でBBQ。今年は趣向を変えてカツオの土佐造りとオージービーフのランプステーキ。藁で焼いたカツオの刺身を塩で。熱いカツオは美味いと好評でした。ステーキも火の強いところで表面をカリッと焼いてから火の弱いところで中まで熱を通してメディアムレアに。塩コショウだけの味付けだけどこれも美味しいと好評でした。おかげでひと切れも食べられませんでした。今年は時間も短めでリーダーとの交流は今一つでしたので来年への課題としましょう。

カツオもステーキも食べられなかったワイズの面々は森下の山利喜に突撃。名物のもつ煮込み玉子入りとガーリックステーキを赤ワインで楽しみました。やっぱり美味しいものは美味い！

（参加者：相川、大原、草分、小松ちょ、佐藤、佐藤あど、駿河、高橋、寺尾、藤波、村田、柳澤、山崎、以上13名）

AIに聞いてみよう

藤波聖佳



皆様は AI を使いこなしている派ですか？それとも気になるけどまだあまり仲良くできていない派でしょうか？私は前者。今や AI がなかった時のことを思い出すのが難しいほど日常に馴染んでいます。とは言え自己流の使い方をしているので一度ちゃんと学んでみたいと思っていました。

そんな折、5月の例会では江東ワイズの IT 担当である滝沢さんより「chatGPT を使いこなそう」と題してご講演頂きました。参加者は今年一番の人数！皆様の興味の高さが伺えます。chatGPT だけではなく Gemini、Claude についても話は発展。堀さんの奥様もご参加されてたくさんの質疑応答で大変盛り上がる会になりました。

その中でも一番盛り上がったのは手相占い！「実は占いもできるんですよ、これが結構当たって楽しいですよ」と説明があると、それまでのおしゃべりが止まりなんだかみんな静かに。と思ったら、各々自分の手相をパシャリと撮影、chatGPT に読み込ませて結果を読んでいたのです。「おー当たってるなあ」「君のはどうだった？」回答を見比べてさらに盛り上がったのでした。

困った時、時間も気にせず質問できるのは頼もしい時代になったなあと思う反面、こんなに私の考えや情報を教えていいものか？このままでは私の脳みそをすっかり乗っ取られてしまう日も近いのではないかと心配にもなります。嘘もつくので注意も必要。と言いつつお手軽さには勝てず、今日もまた質問する日々です。「先方が怒ってる、いい感じにごめんなさいの文章考えて！」

神田川船の会報告

小松重雄



5月9日（土）、午前中は強風により運航に支障がある状況でしたが、午後になると風が弱まり良い天候になりました。神田川は武蔵野市と三鷹市にまたがる井之頭公園を源流とし、下流で複数の河川と合流して隅田川へと流れています。神田

川の歴史には、徳川幕府による流れの付け替えがあり、これは外敵の侵入を防ぐ江戸城の防衛と洪水対策を目的として行われたと記録されています。この工事には伊達政宗が関わったと言われています。

午後1:30に三浦屋を出航し、川沿いや橋の特徴を観察しました。聖橋やお茶の水橋、水道橋から眺める景色は普段地上から見ているものとは違った印象を受けました。さらに上流へと進み、吾妻橋ではアサヒビールのシンボルである金色のオブジェについてのガイドさんの説明で、本来は炎をモチーフにしたものだと知りました。

昭和54年の就航後、現在に至るまで100回以上のボランティア活動は地道な努力と結果の結果であると思えました。これからもその力で”神田川船の会“が継続、そして発展して行くことをお祈りいたします。

出席：藤井・小松

東京西ワイズメンズクラブ50周年記念の集い

藤井寛敏



5月14日掲題の集まりが杉並会館で開かれた。同クラブが所属する活発なあずさ部の皆さんや東西ワイズの“西クラブ連合”からの出席者で50名を超えるにぎやかな会となった。

小生は住まいが近いということもあり、同クラブの例会日がわが江東クラブとおなじ第3木曜日のなかで重なっていない月には時々同クラブの例会には出席していたので顔なじみで出席した。会は通常の祝会と同じようなプログラムで進められた。配布された資料の中に「WHO ウォーキング ホリデー オギクボが勤める 257 コース」と題した60ページに及ぶ冊子が入っていた。（表紙の帽子と靴はクラブの大野貞次さんによるという）

これはクラブの吉田明宏さんが中心となって1999年から2026年まで都内および近郊を一日5時間を歩いた257コースの記録である。コースの案内文が実に魅力的で参加を誘われる。吉田さんは予定のすべてのコースを前もって（2回の時もあったという）歩き、作成したとのことである。

同クラブのメンバーと他クラブのワイズメン有志が世話役を引き受け、30名ほどの参加者のお世話をしたという。お手伝いの多いのも素晴らしいコースの証しであろう。この冊子の作成に当たってもクラブのメンバーのほかに東京グリーンクラブの樋口順英さん、東京武蔵野多摩クラブの渡辺大輔さん、元石巻広域クラブの関さんなどの協力があったという。

表紙の下にはクラブの名前と共に今はなき「東京 YMCA 杉並センター」とあるのは皆さんの同 YMCA に対する思い入れの深さであろう。

クラブは本年7月から東京たんぼぼクラブ、東京武蔵野多摩クラブと合流し、それぞれが持っている良さを生かした新しいクラブ「東京ワイドウエストワイズメンズクラブ」を組織することになっている。新クラブに幸あれ!!!

焼き鳥づくり

サトウ アドリエン



強い日差しが照りつけ、汗が止まらないほどの暑さの中、園庭で焼き鳥づくりが行われました。今回参加したのは、ワイズメンズクラブの山崎さん、宇田川さん、サトウ アドリエンの3名です。この日、園庭では保護者や先生方が協力して毎年恒例の大型プール設置作業を進めていました。その傍らで、ワイズメンズクラブの3人は焼き鳥づくりを担当。まずは宇田川さん指示に従って炭の火おこしから始まり、火加減を調整しながら一本一本丁寧に焼き上げていきました。

炭火の熱に加え、真上から照りつける強い日差し。まるで二つの太陽に囲まれているような環境でしたが、休憩や水分補給をはさみながら作業を続けました。煙に目をしょぼしょぼさせたり、焼き加減を確認したりしながらも、3人の息の合った連携で作業は順調に進みます。

その結果、火おこしから片付けまでわずか3時間で300本もの焼き鳥が完成しました。大型プール設置と焼き鳥づくり、それぞれの持ち場で力を合わせた一日。暑さに負けず活動した皆さん、本当にお疲れさまでした。

関東東部第2回評議会

鈴木雅博



今回光栄にも2回目の関東東部部長を仰せつかり、あれよあれよという間に1年が経過いたしました。1回目の評議会

は7月に、2回目の評議会は5月に行い、「部会」ではなく「集い」というかたちで卒園児のお父様であり、現在整形外科の病院を経営していらっしゃる先生に講義を行っていただきました。年配の方が多いワイズにはとてもいい刺激になったようです。

若い人から発信を！を主題に若手の多い元気な江東ワイズから関東東部に行きわたり、EMCの観点から部全体のメンバーがすこしでも増加に転じればと思って活動してまいりましたが、私の力不足で残念なことに数人の入会にとどまりましたことに悔いが残ります。

貢献できたのが「インド体験交流プログラム」です。自分の経験が若い学生に伝わり、3名の学生が参加し、YMCAを通じていろいろな観点で勢いのあるインドでの生活、現地で若者同士の交流の経験を積んでもらえたことが何よりの成果だと思っています。

今回のお役を終えることができたのは1年間何もできない私に相川さんと酒匂さんがサポートしてくださったお蔭だと感謝に堪えません。ありがとうございました。無事に終わることができましたことに深く感謝を申し上げます。

5月度第一例会報告

滝沢圭太

5月度の第一例会・・・は江東親睦会と兼ねて行われました？ので、当時話し合ったことと今回の本例会開催にあたっての小話を。今年の江東親睦会は長男が塾のテストということで、有能な売り子である滝沢兄弟そろっての来訪はならず、しかし次男が頑張って声を張り上げ、焼き鳥を売ってくれました。そんな中、本例会に向けて何を準備したらよいか草分館長に尋ねられ、「んー、とりあえずZoom配信環境とプロジェクター、スクリーンがあればいいっす」と回答し、本例会の準備(第一例会)は終了。さて当日は題名こそ決めたものの、どんなターゲットに何をしたもんか。出欠を見ていると今年度一番の参加率を誇りそうな出席率だし、普段生成AIに触れる機会もまばらだろうしと、携帯だけは持ってきてもらいつつ、レベル別かつその場で作り上げられる内容にしようと思いつき、せっかく生成AIの講演なんだから、この企画すらもちゃんと生成AIにやらせようと思いつき、尋ねてはみたものの出てきたコンテンツはありきたりなものでイマイチ。今回の講演の肝でもありましたが、生成AIは1回尋ねてイマイチだからと諦めてはいけません。対話を重ねてより精度が上がっていくものでしたね。そこで2年前に講演したときから進化した部分として、自分色に育てられるようになったことだと思いつき、生成AIを「育てる」というのはどういうことかを問うてみたら面白そうな企画を沢山だしてくれたので、それを皆さんの前でやってみることに。当日はもちろん教材について話すだけじゃ面白くないので、掌の写真撮ったら手相見られるよ、みたいなおまけ情報入れてみたら、皆さん私の講演そっちのけでご自身の手相の出力結果を読み耽っていたのが印象的でした。いいんです、テーマは「生成AIと仲良くなるう」ですから。

YMCA ニュース

江東コミュニティーセンター&幼稚園 江東YMCAの報告

▼江東YMCA幼稚園

- ・花の日礼拝：子どもたちは一輪のお花を持って登園してくれました。幼稚園で用意したお花と一緒に、いつも見守ってくれている近隣の方々へ感謝を伝えるに行きました。
- ・プール設置：5月30日（土）、25名の保護者の応援のおかげで園庭に今年もプールが完成しました。お手伝いの保護者の方々に江東ワイズの方々が焼き鳥を焼いてお土産としてビールと一緒にお渡しをしてくれました。



▼江東コミュニティーセンター

- ・江東親睦会：準備委員会を2回行い、5月9日（土）16時～18時で開催しました。江東ワイズ、卒園児、卒園児保護者のみなさんにいろいろなボランティアの役を担っていただきました。こども約240名、大人約400名が来場され、盛会に終えることができました。益金は「リーダー感謝費」「幼稚園備品購入」「バザー商品代」「コミュニティー活動費」として使わせていただきます。重ねて感謝いたします。



江東センター&幼稚園の予定

- ▼虹の会役員会：6月15日（月）
- ▼避難訓練：6月17日（水）
- ▼東京YMCAグループ保育・教育・地域福祉・居場所合同研修会：6月20日（土）
- ▼誕生会：6月24日（水）
- ▼2027年度入園説明会・こぐまひろば：6月27日（土）

編・集・後・記

東日本区大会では石巻市の大川小学校のツアーに参加した。助かった当時小5のチーム大川のスタッフを話を聞く機会を得たが、まだ震災と人災が続いていると感じた。15年も経つのに。。。(Y.S.)
もしご用命ございましたら外部講演依頼もお待ちしております (BB)

オール東京の報告・今後の予定

東日本地区YMCA役員研修会 4月25日、オンライン開催され、東日本地区各YMCAの役員、運営委員、管理職職員など計60名(内東京YMCAから12名)が参加しました。「子どものこころの育ちにYMCAはどのように寄り添うか」をテーマに、田中哲氏(児童精神科医)から講演をいただいたあと、グループに分かれて意見交換を行いました。

第35回チャリティーゴルフ大会 4月28日、PGM総成ゴルフクラブ(成田市)で開催しました。19組65人が参加し、益金約40万円はウクライナ支援及びフレンドシップファンドとして用いられます。

キャンプディレクター研修会 4月29日～5月1日、山中湖センターにて実施しました。東京YMCAの野外、健康教育、保育等の分野の職員に加え、埼玉、ぐんま、滋賀の各YMCAからの参加もあり、14名が夏季キャンプに備えて実践的な学びの時を持ちました。

第23回東京YMCA会員大会 5月23日、山手センターに90名が集い、14名がオンライン配信を視聴しました。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会、星野太郎総主事から東京YMCAの活動報告があり、2026年度の会員部運営委員が推挙されました。第三部では、中期計画推進委員長の上田晶平氏と職員より中期計画「TOKYO YMCA VISION 150」の5つの行動指針とプログラムについての進捗報告があり、会場では、能登半島地震・豪雨被災者支援のための物産販売も行いました。

クリエイティブスペース「VIVISTOP」 今年度より高尾の森わくわくビレッジにて、子どもたちのアイデアを形にするクリエイティブスペース「VIVISTOP」の運営を開始します。デジタル機材や様々な工具を備え、自発的なものづくりやアート活動を支援するプログラム等を準備しています。

今後の主な行事予定

- ・「日本YMCA同盟協議会」6月20日～21日(日本YMCA同盟東山荘)
- ・「第21回世界YMCA大会」7月19日～7月25日(カナダ・トロント)
- ・「キッズワールドカップ in 韓国」8月10日～14日(ソウルYMCA)
- ・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」8月21日～23日(山中湖センター)
- ・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」9月26日(都立木場公園)

江東ワイズ 今後の予定

- 6/4(木) 19:00～ 役員会&第一例会@江東センター
- 6/6(土)～7(日) 東日本区大会@石巻
- 6/18(木) 19:00～ 本例会@江東センター
- 6/25(木) 19:00～ 役員会@江東センター
- 6/26(金) 19:00～ 納会@場所未定